

## 取扱説明書

# Gathers

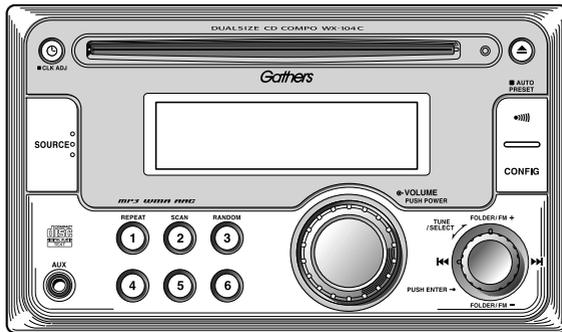
Honda Multi Car-AV System

デュアルサイズ CD/USB コンポ

## WX-104CU

デュアルサイズ CD コンポ

## WX-104C



**MP3 WMA AAC**



**Honda Access**

# Honda Access

このたびは、Honda純正用品を  
お買い上げいただき、ありがとうございます。

この取扱説明書は、  
ご使用のまえによくお読みいただき  
大切に保管してください。

- 当商品はHonda車専用です。商品の適用車種は販売店にご相談ください。適用車種以外の車に取り付けた場合は一切の責任を負えませんのでご承知おきください。
- Honda車への取り付け・配線には専門技術と経験が必要です。安全のためお買い求めの販売店にご依頼ください。
- 商品を譲られる場合には、この取扱説明書も一緒にお渡しください。

保証書やアフターサービスの詳細、その他ご不明  
の点はお買い求めの販売店へご相談ください。

Windows Media™ は、米国 Microsoft Corporation の米国、およびその他の国における商標です。

The "AAC" logo is a trademark of Dolby Laboratories.

iPodは、米国およびその他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

「Made for iPod」とは、iPod専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。  
アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。

# 目次

この取扱説明書の読みかたや、一般的な注意事項が書いてあります。最初に一読してください。

目次	3
本書の読みかた	4
安全上のご注意	6
CDの取り扱い	8
USBデバイスについて <b>CU</b>	10
iPod® について <b>CU</b>	11
使用上のご注意	11
特長	12

ここを読めば、ひととおり操作できます。

基本操作	14
共通操作	14
CDを聴く	16
ディスク内のオーディオファイルを聴く	18
USBデバイス内のオーディオファイルを聴く <b>CU</b>	20
iPodを聴く <b>CU</b>	22
ラジオを聴く	24
AUXの音声を聴く	25

本機のいろいろな設定や調整方法が書いてあります。

時刻合わせ	26
時刻合わせ	26
メニュー設定 (MENU)	27
メニュー項目と基本操作	27
日付合わせ	28
日付の表示方法	28
サウンド設定	29
サウンド設定 (SOUND)	29
サウンド設定項目と基本操作	29
ディスプレイ設定 (TEXT)	30
ディスプレイ設定項目と基本操作	30

トラブルの解決方法などが書いてあります。思いどおりに動かないときに読んでください。

オーディオファイルについて	32
Help? 機能用語集	34
共通	34
メニュー (MENU)	34
サウンド設定	35
Help? 状態表示	36
故障かな?と思ったら	37

保証とアフターサービス	40
付属品一覧	41
外形寸法図	42
仕様一覧	43

はじめに

特長

基本操作

時刻合わせ

メニュー設定 (MENU)

サウンド設定 (SOUND)

ディスプレイ設定 (TEXT)

オーディオファイルについて  
Help? 機能用語集  
Help? 状態表示  
故障かな?と思ったら

保証とアフターサービス  
付属品一覧  
外形寸法図  
仕様一覧

## 時計の調整について

時計の調整は「時刻合わせ」(p26)をご覧ください。

## 「オーディオファイル」とは?

本書に書かれている「オーディオファイル」や「Audio file」とは、USBデバイスやCD-R/RWに記録されたAAC、MP3、WMAファイルのことです。詳しくは「オーディオファイルについて」(p32)をご覧ください。

**CU** はWX-104CUのみの機能を表しています。

# 本書の読みかた

- 本書では、運転者や他の人が傷害を負ったりする可能性のあることを下記の表示を使って記載し、その危険性や回避方法などを説明しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。

## 危険

- 指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの

## 警告

- 指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの

## 注意

- 指示に従わないと、軽傷をうける可能性があるもの

- 当商品に関することや、その他のアドバイスは下記の表示を使って記載しています。しっかりお読みください。



アドバイス

- ・ 当商品が故障、破損するのを防ぐためアドバイスを記載しています。
- ・ 異常事態の処置方法を記載しています。



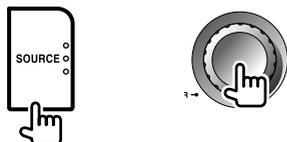
知識

- ・ 知っておいていただきたいこと、知っておくと便利なことを記載しています。

## ボタンとツマミの操作のしかた

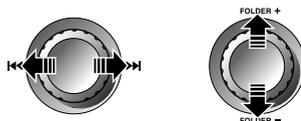
## 短かく押す

ボタンまたはツマミを押してすぐ離すことを表します。



## 倒す

マルチコントロールホイールを指定した方向に倒すまたは倒し続けることを表します。



## 1秒以上押す

1秒以上押す操作を表します。



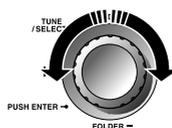
動作が始まるまで、または画面の表示が変わるまでボタンまたはツマミを押し続けることを表します。

このとき、操作確認音が鳴りますのでボタンまたはツマミから手を離してください。

押す秒数はストップウォッチ中の表示を目安にできます。

## 回す

ツマミ（ボリュームノブまたはマルチコントロールホイール）を回すことを表します。



## 対象モデルについて

CU は、WX-104CUのみで使える機能を表します。

マークがついていないものは、WX-104CU/WX-104Cの両モデルで共通な機能を表します。



- 仕様変更などにより、この本の内容と商品が一致しない場合もありますのでご了承ください。
- 本取扱説明書の表示は説明用に作成したものです。実際とは異なることがあります。

# 安全上のご注意

## ⚠ 危険

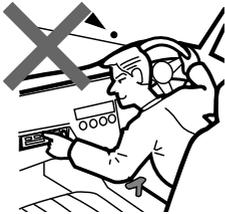
該当なし

## ⚠ 警告

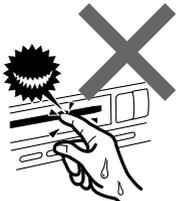
該当なし

## ⚠ 注意

- 運転者が走行中に操作する場合は安全運転に十分注意して操作してください。前方不注意により交通事故の原因となることがあります。



- CD挿入口などに手や指を挟まれないよう注意してください。  
CD挿入口に、手や指を入れるとけがの原因になることがありますので差し込まないでください。



## アドバイス

- 適切な音量でお聴きください。  
運転中の音量は車外の音が聞こえる程度の音量でご使用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因になることがあります。

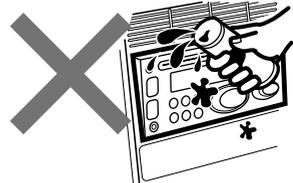


- USBデバイスやAUX外部機器は運転に支障をきたさないような場所に固定してください。

- エンジン停止中やアイドリング中に大きな音量で長時間ご使用になりますと、バッテリーが過放電となり、エンジンの起動ができなくなる恐れがあります。

- CD挿入口、USB端子、またはAUX端子に、コインなど異物を差し込まないでください。故障の原因になることがあります。

- 絶対に水にぬらさないでください。  
本機に、水・飲み物・雨などをかけないでください。発熱・感電・故障の原因となります。



- 本機を分解したり、改造しないでください。  
故障の原因となることがあります。
- ヒューズを交換するときは、必ず指定容量のヒューズを使用してください。  
指定容量を超えるヒューズやヒューズ以外の物を使用すると、故障の原因になります。

- 音が出ない、変なにおいがするなどの状態で使用し続けしないでください。  
そのまま使用を続けると、故障したり煙が出てくるなど、修理不能になる恐れがあります。このようなときはただちに使用をやめ、お買い上げの販売店にご相談ください。



## 知識

- ラジオの受信については、アンテナの位置が刻々と変わるため電波の強さが変わったり、障害物や電車、信号機などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合があります。
- バッテリー交換などで本機への電源供給が止まると、設定したすべての内容が消えてしまいます。
- 本機が動作中に、振動の激しい悪路や道路のつなぎ目などを走行すると、音飛びを起こすことがあります。
- 長時間車を屋外に駐車する場合  
真夏や真冬は、車内の温度が極度に变化していますので換気したり、暖房したりして、車内に適温にしてご使用ください。
- 表示部に衝撃を加えたりすると、破損や変形など、故障の原因となります。
- 表示部は、日差しの角度によっては反射光などで見えにくくなることがあります。

- 結露について  
寒い車内を急に暖房したときなど、ユニット内部に結露が起こることがあります。結露がユニット内部で発生すると、ピックアップに水滴が付着し、レーザー光線が乱反射され正常に動作できなくなることがあります。このような場合は、CDを取り出して乾燥させてください。1時間程度で結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。
- 温度について  
直射日光下で窓を閉めきっていると、車内は非常に高温になります。  
本機内部が70℃を超える高温になると、保護回路が働いてCDの再生ができなくなります。このようなときは、車内の温度を下げてください。保護回路機能が解除され、再生ができる状態になります。
- 万一異常が発生したときは、「保証とアフターサービス」(p40)の項をお読みになり修理を依頼してください。

# CDの取り扱い

## 使用できないCD

レーベル面にシールの貼ってあるCDを使用すると、CDが変形したり、シールがはがれることがあります。本機の故障の原因となることもあるため、レーベル面にシールの貼ってあるCDは使用しないでください。

●  
特殊な形状のCDは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のCDを使用すると故障の原因になります。



●  
本機で再生可能なディスクは、マークの入ったCDだけです。

著作権保護技術対応音楽CDは、本機では再生できない場合があります。

上記マーク以外のCD標準規格に合致しない特殊仕様のCD（各種コピーコントロールCD）は、弊社としては再生保証は致しかねます。

万が一、このような特殊ディスクの再生に支障がある場合は、CDの発売元にお問い合わせください。

●  
8cmCDは使用できません。

●  
ファイナライズ処理を行っていないCD-RおよびCD-RWは再生できません（ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーの説明書をご覧ください）。このほかにもCD-RやCD-RWで記録されたCDは、記録状態により再生できない場合があります。

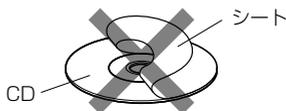
●  
反りやヒビがあるCDは使用しないでください。使用すると、音飛びや故障の原因となります。

●  
読み取り面（レーベル面の反対側）が着色してあるものや汚れているCDは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。

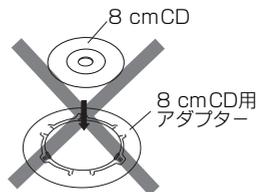
●  
インクジェットプリンターでレーベル面に印刷可能なCD-R/CD-RWを使用すると、誤動作することがあります。

## CD用アクセサリーについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は故障の原因となりますので使用しないでください。



●  
市販の8cmCD用のアダプターも使用しないでください。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。



## 表示できる文字について

本機で表示できる文字は漢字、ひらがな、カタカナ、および半角英数字です。MP3/WMA/AACの文字については「オーディオファイルについて」（p32）をご覧ください。

## CDの入れかた/出しかた

本機にCDを出し入れするときは水平方向に挿入または引き出してください。

下側または上側に強く押しながら出し入れするとCDの読み取り面に傷を付ける原因となります。



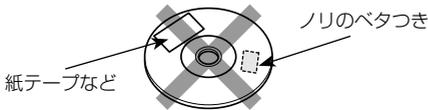
## CDの取り扱いについて

CDの汚れや、ゴミ、キズ、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。取り扱いは読取り面に触れないようにしてください（レーベルが印刷されていない面が読み取り面です）。



CD-RやCD-RWは通常の音楽CDより反射膜が弱いため、傷が付くことなどにより、はがれることがあります。また、指紋による音飛びにも弱いメディアです。取り扱いには十分注意をしてください。詳細な注意事項がCD-RおよびCD-RWのパッケージなどにも書かれています。それらの注意事項も読んでから使用してください。

読み取り面や、レーベルが印刷されている面に紙テープなどを貼らないでください。CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどのノリがはみ出したり、はがした痕があるものはお使いにならないでください。そのままCDプレーヤーにかけるとCDが取り出せなくなったり、故障することがあります。

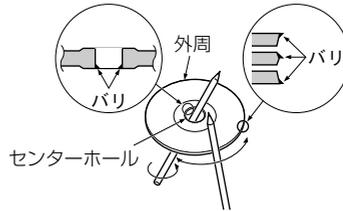


## レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

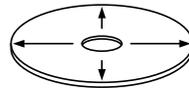
## 新しいCDを使うときは

新しいCDを使うときは、CDのセンターホールや外周部に“バリ”がないことを確認してください。“バリ”がついたまま使用すると、CDが挿入できなかつたり音飛びの原因になります。“バリ”があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。



## CDのお手入れ

CDが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽く拭き取ってください。従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。



## CDの保存

直射日光が当たる場所（シートやダッシュボードの上）など、温度が高い場所には置かないでください。特にCD-R、CD-RWは通常の音楽CDに比べ、高温、多湿の環境に弱く、ディスクによっては車内に長時間放置すると使用できなくなる場合があります。

長期間再生しないときは、本機からCDを取り出して、ケースに入れて保管してください。キズ、汚れ、反りの原因になりますので、ケースに入れずに重ねて置いたり、斜めに立てかけて保存しないでください。

# USBデバイスについて

本機では、USB端子を持つフラッシュメモリーやデジタルオーディオプレーヤー（本書ではこれらを総称して「USBデバイス」と呼んでいます）に記録されているオーディオファイルを再生できます。

ただし、使用できるUSBデバイスの種類や使用方法には以下のような制限があります。

## 使用できるUSBデバイス

- 「USBマストレージクラス」のUSBデバイス。
- 最大消費電流が「500mA」以下のUSBデバイス。
- 主な仕様

USB規格	USB 1.1/ USB 2.0
USBクラス	マストレージクラス
転送速度	フルスピード (12Mbps Max)
USBサブクラス	SCSI
プロトコル	Bulk Only
供給電流	最大500 mA
ファイルシステム	FAT16/ FAT32
クラスサイズ	2~32 Kバイト
容量	FAT16：128Mバイト以上 FAT32：256Mバイト以上

上記「USBマストレージクラス」のUSBデバイス以外のUSB機器は接続しないでください。



知 識

- 「USBマストレージクラス」  
特別なドライバーやアプリケーションソフトを使用せずに、外部ストレージとしてPCが認識できるUSBデバイスです。
- メモリーカードをカードリーダーで使用する場合、カードリーダーの種類により使用できないものがあります。カードリーダーの使用に関しては動作保証は致しません。
- 使用するUSBデバイスがUSBマストレージクラス規格に対応しているかは、USBデバイスの販売メーカーにお問い合わせください。
- 上記以外のUSBデバイスを使用すると、オーディオファイルのプレイや表示が正常にできないことがあります。  
また、上記規格に準拠したUSBデバイスを使用しても、USBデバイスの種類やコンディションなどにより、正常にプレイできない場合があります。
- すべてのUSBデバイスに対して、動作や電源供給を保証するものではありません。
- 再生できるオーディオファイルの仕様は、「オーディオファイルについて」(p32)をご覧ください。
- MacOSでUSBデバイスにオーディオファイルをコピーしたときは、リソースフォークを削除してください。そのままプレイすると、オーディオファイルが正しい順番でプレイされない場合があります。

## USBデバイスの接続について

- USBデバイスを直接本機のパネルのUSBコネクタに接続しないでください。付属のUSBケーブルを使って接続してください。
- 付属のUSBケーブル以外のケーブルを使用した場合は動作保証できません。
- USBハブを介してUSBデバイスを認識させることはできません。

## USBデバイスのご使用上の注意

- USBデバイスを車内に放置しないようにしてください。直射日光や高温などの影響により、USBデバイスが変形や故障する場合があります。
- 運転の妨げにならない所にUSBデバイスを固定してください。
- 本機で使用するオーディオファイルはバックアップをしてください。USBデバイスの使用状況によっては保存内容が失われる場合があります。保存データが失われたことによる損害については、当社はその補償を一切いたしません。あらかじめご了承ください。
- 本製品にUSBデバイスは付属していません。別途、市販品を購入してください。使用できるUSBデバイスについては、前記の「使用できるUSBデバイス」を参照してください。

iPodは、iPodに付属のDockコネクタUSBケーブル（以降、「iPod接続ケーブル」）で接続します。

本書では、iPod接続ケーブルで接続されたiPodをまとめて「iPod」と呼びます。

## 使用できるiPod

本機に接続できるiPodとファームウェアのバージョンは次のとおりです。（2009年4月現在）

Made for

- iPod nano (1st generation)
- iPod nano (2nd generation)
- iPod nano (3rd generation)
- iPod nano (4th generation)
- iPod with video
- iPod classic
- iPod touch (1st generation)
- iPod touch (2nd generation)

iPod touch (第1世代)	F/W Ver. 1.1.4以降
iPod touch (第2世代)	F/W Ver. 2.2以降
iPod classic (80GB/160GB)	F/W Ver. 1.1.2以降
iPod classic (120GB)	F/W Ver. 2.0以降
iPod (第5世代)	F/W Ver. 1.3以降
iPod nano (第1世代)	F/W Ver. 1.3.1以降
iPod nano (第2世代)	F/W Ver. 1.1.3以降
iPod nano (第3世代)	F/W Ver. 1.1.3以降
iPod nano (第4世代)	F/W Ver. 1.0.3以降

最新の適用情報は、下記のサイトをご覧ください。

<http://www.honda.co.jp/navi/support/ipodlist/>



- iPodを接続してプレイすると、最初はiPodでプレイしていた曲から始まります。タイトルなどを切り替えると、ブラウザ項目が「PLAYLIST」に切り替わり曲のタイトルなどが表示されます。

## iPodのご使用上の注意

- iPodを認識しない場合や誤動作など異常が発生した場合は、以下の操作を行ってください。
  - iPodを本機およびiPod接続ケーブルからいったん取り外し、再度接続しなおしてください。
  - 接続しなおしても正常にプレイできない場合は、iPodをリセットしてください。
  - 上記操作を行っても正常にプレイできない場合は、iPodの復元を行ってください。
- iPodのリセットの方法は、ご使用のiPodによって異なります。リセットおよび復元の方法については、iPodの製品マニュアル（ユーザーズガイド）またはアップル社のwebサイトを参照してください。
- iPod（iPod Touchを除く）に「Gathers」と表示されているときには、iPod側では操作できません。
- iPodおよびiPod接続ケーブルは、車内に放置しないでください。直射日光や高温などにより、変形や故障の原因になります。

## 本機のお手入れについて

本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーをいったん布に付けてから汚れを落とし、その後洗剤を拭き取ってください。

スプレー式のクリーナーなどを直接本機に吹きかけると、本機の機構部に支障を与えたり、固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり文字が消えることがあります。



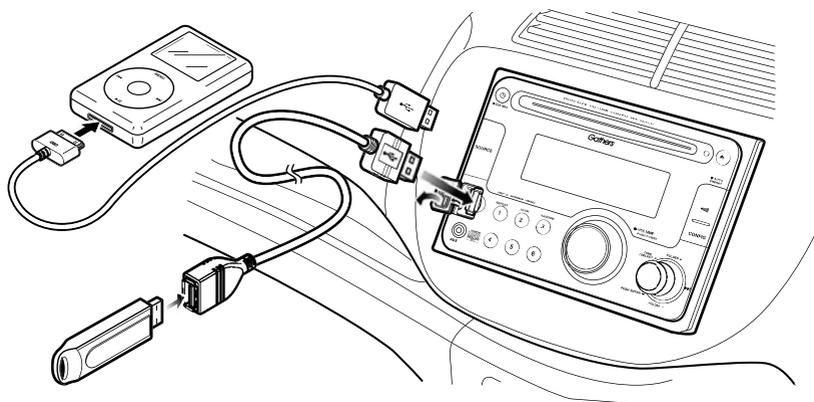
CD挿入口は、ホコリがたまりやすいので、時々掃除してください。

## 本機のお取り扱いについて

本機を分解したり、改造しないでください。故障の原因となることがあります。

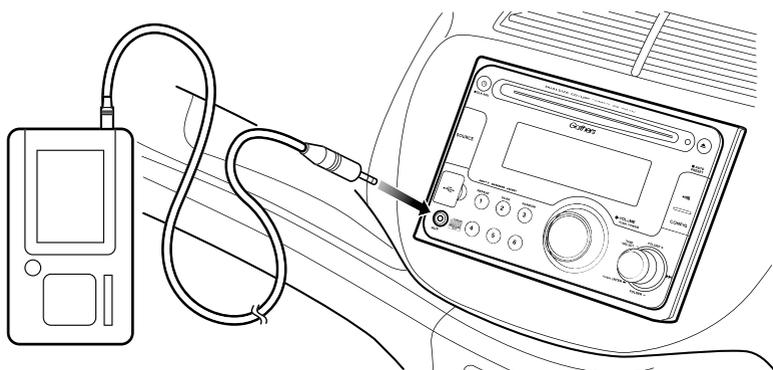
## USB端子 (CU)

USBデバイス (USB端子のあるフラッシュメモリーなどやiPod) に記録されているオーディオファイルを再生できます。



## 外部入力 (AUX) 端子

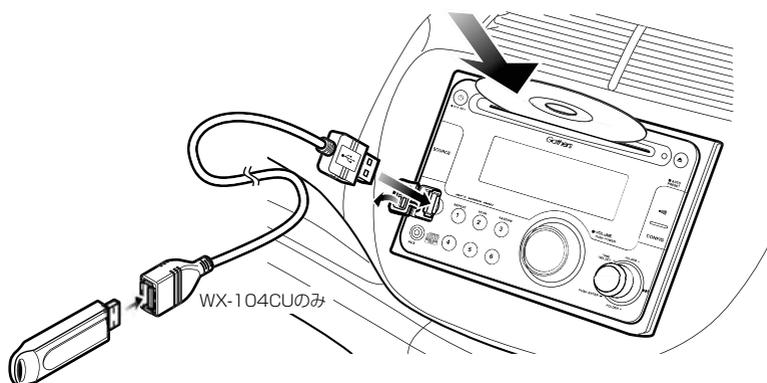
外部入力端子を操作パネルに配置したことで、デジタルオーディオプレーヤーなどのポータブルオーディオの音をスピーカーから聴くことができます。



## MP3/WMA/AACファイルのプレイ

USBデバイス  またはCD-R/RWに記録されているオーディオファイル (MP3、WMA、およびAAC) をプレイできます。

また、MP3 ID3タグ、WMAタグとAACメタデータ (曲情報) のタイトル情報を表示できます。



本機でプレイできるオーディオファイルは、MP3、WMA、またはAACファイルです。詳しくは「オーディオファイルについて」(p32) をご覧ください。



● このページ以降、操作説明用のパネルイラストにはWX-104CUを使用しています。

# 基本操作

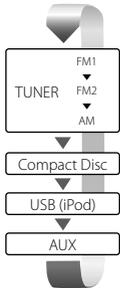
## 共通操作



B

### ソースを切り替えます

SOURCE ボタンを押すたびに、プレイ可能なソースが次の順に切り替わります。



ラジオ放送を受信します。(p24)  
ソースが“TUNER”のときにSOURCE ボタンを押すと、FM1→FM2→AMの順に切り替わります。

Compact Disc CDまたはCD-R/RWのオーディオファイルをプレイします。(p16、p18)

USB (iPod) USBデバイス内のオーディオファイルまたはiPodをプレイします。 (p20、p22)

AUX AUXに入力されたサウンドを出力します。(p25)

ソースが切り替わるときには、新しいソース名がアニメーション表示されます。



- プレイ可能な状態になっていないソースには切り替わりません。
- CDまたはオーディオファイルディスクをディスク挿入口に挿入すると、プレイが開始されます。
- 他のソースのプレイ中にUSBデバイスを付属のUSBケーブルで接続すると、ソースは自動的に“USB”に切り替わり、オーディオファイルのプレイが開始されます。
- iPodをiPod接続ケーブルで接続されているときには、ソース名は“USB”のかわりに“iPod”と表示されます。iPodについては、「iPodについて」(p11)をご覧ください。
- 他のソースのプレイ中にiPodをiPod接続ケーブルで接続すると、ソースは自動的に“iPod”に切り替わります。
- 他のソースのプレイ中にポータブルオーディオ機器などの外部機器をAUX端子に接続すると、ソースは自動的に“AUX”に切り替わります。

L

## マルチコントロールホイールの主な操作

	ラジオ	受信周波数を変えます。
	iPod 	カテゴリや曲を選択します。
	メニュー	項目を選択します。
	ラジオ	受信可能な放送局を選択します。
	CD/ USB 	次または前の曲をプレイします。
	iPod 	次または前の曲をプレイします。
	メニュー	項目の設定値を選択します。

	USB  / CD(オーディオ ファイル)	フォルダを選択します。
	iPod 	カテゴリの階層を移動します。
	iPod 	曲やカテゴリの選択を決定します。 プレイ中はポーズします。ポーズ中はプレイを再開します。
	メニュー	項目の選択を決定します。

F

## オーディオをオン/オフにします

ボリュームノブ  を押しすと、オーディオがオフになります (オーディオオフ)。

もう一度押しすと、元のソースがプレイされます。

F

## 音量を調整します

ボリュームノブ  を回して調整します。

小さく  大きく



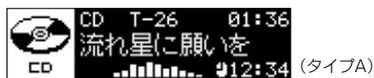
注意

安全のために、周囲の音が聞こえる音量でお聴きください。

A

## 表示を切り替えます

 ボタン  を押しすと、次の2種類の表示タイプが交互に切り替わります。



A

## 時刻を合わせます

 ボタン  を2秒以上押し続けると、時刻を合わせることができます。(p26)

J

## 交通情報を聴きます

 ボタン  を押しすと、交通情報が受信されます。もう一度押しすと、元のソースに戻ります。

## CDを聴く



(イラストはWX-104CU)

### G H I

#### CDをプレイします

ディスク挿入口GにCDを挿入すると、差し込んだCDがプレイされます。

#### CDを取り出します

▲ ボタンIを押します。



- CDは水平に差し込んでください。
- 本機がオーディオオフの状態であっても、CDを挿入すると自動的にオンになり、プレイが開始されます。
- CDが入っているときには、ディスクインランプHが点灯します。取り出すと消灯します。
- CDがすでに入っているときには、SOURCE ボタンBでCDソースに切り替えるとプレイされます。
- CDが入っていないときには、SOURCE ボタンをE押ししてもCDソースに切り替えることはできません。



### L

#### プレイする曲を選びます

マルチコントロールホイールLを右(▶▶側)に倒すと、次の曲がプレイされます。

マルチコントロールホイールLを左(◀◀側)に倒すと、プレイ中の曲の先頭/前の曲がプレイされます。



### L

#### 早送り/早戻しします

マルチコントロールホイールLを右(▶▶側)に倒し続けると、倒している間、曲が早送りされます。

マルチコントロールホイールLを左(◀◀側)に倒し続けると、倒している間、曲が早戻しされます。



E

### ランダムプレイ

3 ボタンを押すと、ランダムプレイが開始されます。もう一度押すと、通常のプレイに戻ります。

ランダムプレイでは、現在のCD内の曲がランダムな順でプレイされます。



知識

- マルチコントロールホイールを右 (▶▶側) に倒すと、次の曲がランダムに選択されます。

E

### リピートプレイ

1 ボタンを押すと、リピートプレイが開始されます。もう一度押すと、通常のプレイに戻ります。

リピートプレイでは、現在聴いている曲が、繰り返しプレイされます。

E

### スキャンプレイ

2 ボタンを押すと、スキャンプレイが開始されます。聴きたい曲でもう一度押すと、通常のプレイに戻ります。

スキャンプレイでは、現在のCD内の曲の先頭10秒分が次々とプレイされます。



知識

- すべての曲がスキャンプレイされると、スキャンプレイは自動的に終了します。

## ディスク内のオーディオファイルを聴く



(イラストはWX-104CU)

### G H I

#### CD-R/RWに記録されているオーディオファイルを プレイします

ディスク挿入口Gにディスクを挿入すると、差し込んだディスクが  
プレイされます。

#### ディスクを取り出します

▲ ボタンIを押します。



- ディスクは水平に差し込んでください。
- 本機がオーディオオフの状態であっても、ディスクを挿入すると自動的にオンになり、オーディオファイルのプレイが開始されます。
- ディスクが入っているときには、ディスクインランプGが点灯します。取り出すと消灯します。
- ディスクがすでに入っているときには、SOURCE ボタンBでCDソースに切り替えるとプレイされます。
- ディスクが入っていないときには、SOURCE ボタンBを押してもCDソースに切り替えることはできません。
- プレイできるオーディオファイルの種類やフォーマットなどについては、「オーディオファイルについて」(p32)をご覧ください。



### L

#### プレイする曲を選びます

マルチコントロールホイールL  
を右(▶側)に倒すと、次の  
曲がプレイされます。

マルチコントロールホイールL  
を左(◀側)に倒すと、プレ  
イ中の曲の先頭/前の曲がプレ  
イされます。



### L

#### プレイするフォルダを選びます

マルチコントロールホイールLを  
上(FOLDER+側)に倒すと、次の  
フォルダの曲がプレイされます。

マルチコントロールホイールLを  
下(FOLDER-側)に倒すと、前の  
フォルダの曲がプレイされます。



L

**早送り/早戻しします**

マルチコントロールホイール<sup>L</sup>を右 (▶▶側) に倒し続けると、倒している間、曲が早送りされます。



マルチコントロールホイール<sup>L</sup>を左 (◀◀側) に倒し続けると、倒している間、曲が早戻しされます。

E

**ランダムプレイ**

3 ボタン<sup>E</sup>を押すと、ランダムプレイが開始されます。もう一度押すと、通常のプレイに戻ります。

ランダムプレイでは、現在のフォルダ内の曲がランダムな順でプレイされます。



- マルチコントロールホイール<sup>L</sup>を右 (▶▶側) に倒すと、次の曲をランダムに選択します。

E

**スキャンプレイ**

2 ボタン<sup>E</sup>を押すと、スキャンプレイが開始されます。聴きたい曲でもう一度押すと、通常のプレイに戻ります。

スキャンプレイでは、現在のフォルダ内の曲の先頭10秒分が次々とプレイされます。



- すべての曲がスキャンプレイされると、スキャンプレイは自動的に終了します。

E

**ファイルリピートプレイ**

1 ボタン<sup>E</sup>を押すと、ファイルリピートプレイが開始されます。もう一度押すと、通常のプレイに戻ります。

ファイルリピートプレイでは、現在聴いている曲が、繰り返しプレイされます。

E

**フォルダリピートプレイ**

1 ボタン<sup>E</sup>を1秒以上押し続けると、フォルダリピートプレイが開始されます。もう一度1秒以上押し続けると、通常のプレイに戻ります。

フォルダリピートプレイでは、現在のフォルダ内の曲が、繰り返しプレイされます。

## USBデバイス内のオーディオファイルを聴く CU



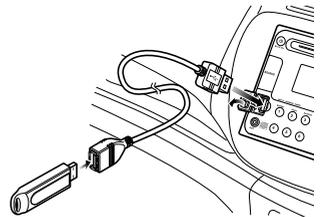
### C

#### USBデバイス内のオーディオファイルを プレイします

USB端子④のカバーを開き、USBメモリーなどのUSBデバイスをUSBケーブルで接続すると、USBデバイスのプレイが始まります。



- USBデバイスやUSBケーブルは、奥まで確実に差し込んでください。
- USBデバイスがすでに接続されているときには、**SOURCE** ボタン⑤でUSBソースに切り替えるとプレイされます。
- USBデバイスを接続していないときには、**SOURCE** ボタン⑤を押してもUSBソースに切り替えることはできません。
- プレイをストップしたあとで再びプレイすると、ストップした曲からプレイが再開されます。
- プレイできるオーディオファイルの種類や使用できるUSBデバイスの種類などの詳細については、「オーディオファイルについて」(p32) をご覧ください。
- 使用できるUSBデバイスの種類については、「USBデバイスについて」(p10) をご覧ください。



### C

#### USBデバイスを取り外します

USBデバイスとUSBケーブルを取り外します。



- USBデバイスは、特別な操作なしに、いつでも取り外せます。
- USBデバイスを取り外すと、USBソースに切り替わる前のソースに戻ります。

L

**早送り/早戻しします**

マルチコントロールホイール $\odot$ を右(▶▶側)に倒し続けると、倒している間、曲が早送りされます。

マルチコントロールホイール $\odot$ を左(◀◀側)に倒し続けると、倒している間、曲が早戻しされます。



L

**プレイする曲を選びます**

マルチコントロールホイール $\odot$ を右(▶▶側)に倒すと、次の曲がプレイされます。

マルチコントロールホイール $\odot$ を左(◀◀側)に倒すと、プレイ中の曲の先頭/前の曲がプレイされます。



E

**ランダムプレイ**

3 ボタン $\odot$ を押すと、ランダムプレイが開始されます。もう一度押すと、通常のプレイに戻ります。

ランダムプレイでは、現在のフォルダ内の曲がランダムな順でプレイされます。現在のフォルダ内のすべての曲をプレイすると、次のフォルダのランダムプレイがされます。



知識

- マルチコントロールホイール $\odot$ を右(▶▶側)に倒すと、次の曲をランダムに選択します。

L

**プレイするフォルダを選びます**

マルチコントロールホイール $\odot$ を上(FOLDER+側)に倒すと、次のフォルダの曲がプレイされます。

マルチコントロールホイール $\odot$ を下(FOLDER-側)に倒すと、前のフォルダの曲がプレイされます。



E

**ファイルリピートプレイ**

1 ボタン $\odot$ を押すと、ファイルリピートプレイが開始されます。もう一度押すと、通常のプレイに戻ります。

ファイルリピートプレイでは、現在聴いている曲が、繰り返しプレイされます。

E

**スキャンプレイ**

2 ボタン $\odot$ を押すと、スキャンプレイが開始されます。聴きたい曲でもう一度押すと、通常のプレイに戻ります。

スキャンプレイでは、現在のフォルダ内の曲の先頭10秒分が次々とプレイされます。



知識

- すべての曲がスキャンプレイされると、スキャンプレイは自動的に終了します。

E

**フォルダリピートプレイ**

1 ボタン $\odot$ を1秒以上押し続けると、フォルダリピートプレイが開始されます。もう一度1秒以上押し続けると、通常のプレイに戻ります。

フォルダリピートプレイでは、現在のフォルダ内の曲が、繰り返しプレイされます。

## iPodを聴く CU

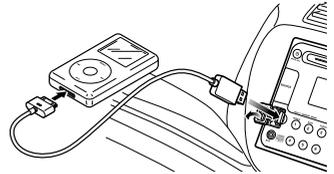


(イラストはWX-104CU)

### C

#### iPod内の曲をプレイします

USB端子④のカバーを開き、iPodをiPod接続ケーブルで接続すると、iPodのプレイが始まります。



- iPod接続ケーブルは、奥まで確実に差し込んでください。
- iPodの状態によっては、iPodを接続してからプレイが開始されるまで1分以上かかる場合があります。
- iPodがすでに接続されているときには、**SOURCE** ボタン③でiPodに切り替えるとプレイされます。iPodを接続していないときには、**SOURCE** ボタン③を押してもiPodに切り替えることはできません。
- iPodの接続にはiPodに付属のiPod接続ケーブルが必要です。使用できるiPodについては「iPod® について」(p11)をご覧ください。
- プレイをストップしたあとで、再びプレイするとストップした曲からプレイを再開されます。iPodを取り外した場合も、iPodの保存内容が変わっていなければ、ストップした曲からプレイを再開されます。
- iPodをAUX接続ケーブル(別売品)で接続した場合は、ソースは“AUX”になります。このとき、本機でiPodを操作することはできません。iPod側で操作してください。ただし、走行中は安全のため操作しないでください。

### L

#### プレイする曲を選びます

マルチコントロールホイール①を右(▶▶側)に倒すと、次の曲がプレイされます。

マルチコントロールホイール①を左(◀◀側)に倒すと、プレイ中の曲の先頭/前の曲がプレイされます。



### L

#### プレイ/ポーズします

マルチコントロールホイール①の中央部を一度押すと、プレイを一時停止します。

もう一度押すと、プレイを再開します。



L

## 曲/カテゴリ選択

マルチコントロールホイール $\odot$ を回して曲やカテゴリを選択し、中央部を押して決定します。

各階層のカテゴリのリストでカテゴリを選択すると、そのカテゴリ内の項目（カテゴリ）のリストが表示されます。たとえば、アーティストリストでアーティストを選択すると、そのアーティストのアルバムリストが表示されます。

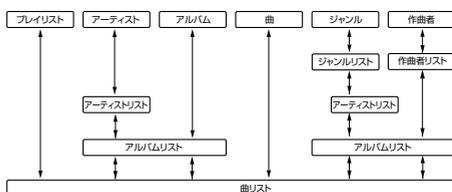
カテゴリ選択（絞り込み）を進めて、曲リストで曲を選択すると、選択した曲のプレイが開始されます。



知識

- 1階層上のカテゴリに戻るときは、マルチコントロールホイール $\odot$ を左（ $\blacktriangleleft$ 側）に倒します。
- マルチコントロールホイール $\odot$ を回すかわりに、上（FOLDER+側）または下（FOLDER-側）に倒してもカテゴリや曲を選択できます。
- マルチコントロールホイール $\odot$ を押すかわりに、右（ $\blacktriangleright$ 側）に倒すと1階層下のカテゴリに移動します。
- 曲を選択しているときにマルチコントロールホイール $\odot$ を右（ $\blacktriangleright$ 側）に倒すと、その曲がプレイされません。

- iPodのカテゴリは、次のような階層構造になっています。



本機では、iPodで操作するのと同様に、各階層のカテゴリを選択することによって選曲できます。

E

## シャッフルプレイ

3 ボタン $\odot$ を押すと、ソングシャッフルプレイヤー→アルバムシャッフルプレイ→通常のプレイの順に切り替わります。

ソングシャッフルプレイでは、現在のアルバム内の曲がランダムな順でプレイされます。

アルバムシャッフルプレイでは、プレイするアルバムがランダムな順に選択されます。アルバム内の曲は、順にプレイされます。



知識

- マルチコントロールホイール $\odot$ を右（ $\blacktriangleright$ 側）に倒すと、次の曲がランダムに選択されます。

L

## 早送り/早戻しします

マルチコントロールホイール $\odot$ を右（ $\blacktriangleright$ 側）に倒し続けると、倒している間、曲が早送りされます。

マルチコントロールホイール $\odot$ を左（ $\blacktriangleleft$ 側）に倒し続けると、倒している間、曲が早戻しされます。



E

## ミュージックリピートプレイ

1 ボタン $\odot$ を押すと、ミュージックリピートプレイが開始されます。もう一度押すと、通常のプレイに戻ります。

ミュージックリピートプレイでは、現在聴いている曲が、繰り返しプレイされます。

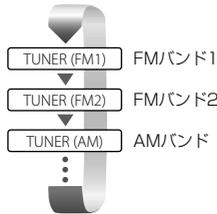
## ラジオを聴く



**B**

### ソースとバンドを選択します

SOURCE ボタンを押すと、ソースとバンドが次のように切り替わります。



**E**

### 放送局をプリセットします

1 - 6 ボタンを約2秒以上押すと、受信中の放送局が押したボタンにメモリーされます。

**J**

### 放送局を自動的にプリセットします

● ボタンを約1秒以上押すと、受信状態の良い放送局が自動的にメモリーされます。



● 6個のプリセットボタンにすべてメモリーされるか、周波数を一巡すると、自動的に終了します。

**L**

### 放送局を選択します

マルチコントロールホイールを左(◀側)または右(▶側)に倒すと、受信状態の良い放送局が自動的に受信されます。



**E**

### プリセット局を受信します

1 - 6 ボタンを押すと、押したボタンにメモリーされている放送局を受信します。

## AUXの音声を聴く



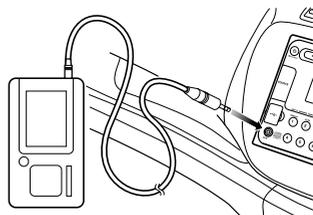
(イラストはWX-104CU)

B D

## 外部機器を聴きます

AUX端子④にポータブルオーディオ機器などの外部機器を、市販のミニプラグケーブル(3.5φ)で接続します。

外部機器の音声が出力されます。



知識

- 外部機器がすでに接続されているときは、**SOURCE** ボタン③で“AUX”に切り替えるとプレイされます。
- 接続するミニプラグケーブルは、抵抗の入っていないステレオタイプのもを使用してください。
- 外部機器は、本機からコントロールできません。外部機器側から操作してください。



注意

走行中は安全のため、ポータブルオーディオ機器の操作はしないでください。

# 時刻合わせ

時計の時刻を合わせます。

## 時刻合わせ

本機の時計を合わせます。

- 1 電源ボタンを2秒以上押して、時刻合わせを開始します。



ピツとなるまで押し続けます。

- 2 マルチコントロールホイールを回して、“時”を調整します。



- 3 マルチコントロールホイールを右または左に倒して、“分”を選択します。

“分”の表示が点滅します。



- 4 マルチコントロールホイールを回して、“分”を調整します。



- 5 電源ボタンを押して、時刻合わせを終了します。



知 識

- 時報に合わせるときは、4 に続いてマルチコントロールホイールの中央部を押します。時計は正時（例：15:30 → 16:00）になって時刻合わせが終了されます。
- “時”や“分”を変えるたびに、00秒からスタートします。
- 点検や修理などでバッテリーを外した場合は、時計を調整してください。
- 周囲の温度や長時間電源を入れないときなど、使用環境により時計の表示が現在時刻からずれる場合があります。その場合は時計の調整を行い正しい時刻に合わせてください。

# メニュー設定 (MENU)

各種の設定を行います。

## メニュー項目と基本操作

以下の機能の設定をします。

表示	設定概要	設定	電源	ページ
Beep	操作音の有無を設定します。	ON* OFF	OFF	—
Date Adjust	日付を設定します。	—	OFF	28
Date Mode	日付の表示方法を設定します。	—	OFF	28
Contrast	液晶表示のコントラストを調整します。	1~5*~10	—	—
Display	OFFに設定すると、ON*一定時間操作をしないと自動的にディスプレイをオフにします。	OFF	—	Help
Dimmer	ONに設定すると、車両ライト点灯時の本機の液晶表示とイルミネーションの減光機能を解除します。	ON OFF*	OFF	Help
カンジユクセン	曲名などに漢字が含まれている場合の漢字優先表示の有無を設定します。	ON* OFF	OFF	Help
Scroll	曲名などを表示しきれないときの自動スクロール/手動スクロールを設定します。	Manual* Auto	—	Help
CD Read	CDの読み取りモードを設定します。	1* 2	OFF	Help
DISP REV	ディスプレイをネガ・ポジタイプ、または車両のライトスイッチに連動して切り替わるように設定します。	POSI/NEGA* NEGA NEGA/POSI POSI	—	Help

\*お買い上げ時の設定状態を示します。

**OFF** : オーディオオフ中に設定できます。

— : オーディオオン・オフ中でどちらでも設定できます。

**Help** : 機能の詳細については「Help? 機能用語集」(p34)をご覧ください。



● ページ数が表記されている項目は、それぞれのページを参照してください。

**1** 上記の表の「電源」欄の指示に従って、ボリュームノブを押してオーディオオンまたはオーディオオフにします。

**2** CONFIG ボタンを押して、CONFIGモードに入ります。



**3** マルチコントロールホイールの中央部を押して、メニューモードに入ります。



**4** マルチコントロールホイールを回して、設定する項目を選択します。



マルチコントロールホイールを上下に倒して選択することもできます。

**5** マルチコントロールホイールを右または左に倒して、各項目を設定します。



**6** CONFIG ボタンを押して、メニューモードを終了します。



## 日付合わせ

本機の日付を合わせます。

### 1 「Date Adjust」を選択します。

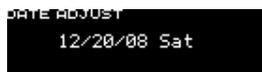
項目を選択する方法については、「メニュー項目と基本操作」(p27)をご覧ください。

### 2 マルチコントロールホイールの中央部を押し続けて、日付合わせを開始します。



日付が表示されるまで、マルチコントロールホイールの中央部を押し続けます。

### 3 マルチコントロールホイールを右または左に倒して、調整する項目を選択します。



選択している項目(“年”、“月”、または“日”)が点滅します。

### 4 マルチコントロールホイールを回して、日付を合わせます。



### 5 CONFIG ボタンを押して、設定を終了します。



## 日付の表示方法

日付の表示方法を変更します。

### 1 「Date Mode」を選択します。

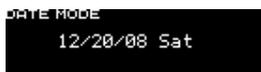
項目を選択する方法については、「メニュー項目と基本操作」(p27)をご覧ください。

### 2 マルチコントロールホイールの中央部を押し続けて、日付表示設定を開始します。



日付が表示されるまで、マルチコントロールホイールの中央部を押し続けます。

### 3 マルチコントロールホイールを回して、日付の表示方法を設定します。



マルチコントロールホイールを上下に倒しても選択できます。

### 4 CONFIG ボタンを押して、設定を終了します。



# サウンド設定 (SOUND)

サウンドを設定します。

## サウンド設定項目と基本操作

音質を調整します。

以下の機能の設定をします。

表示	設定概要	設定
Balance	左右の音量バランスを調整します。	L9~0*~R9
Fader	前後の音量バランスを調整します。	R9~0*~F9
Preset EQ	音楽のジャンルに合わせたイコライザーを選択します。	ROCK, POPS, VOCAL, DANCE, JAZZ, FLAT, OFF*
Bass	低音域のレベルを調整します。	-6~0*~+6
Middle	中音域のレベルを調整します。	
Treble	高音域のレベルを調整します。	
SVC	車両の速度に応じて自動的に変化する音量の増幅量を設定します。	OFF, LOW, MID*, HIGH

\*お買い上げ時の設定状態を示します。



知 識

- サウンド調整は、オーディオオフ以外のときに行ってください。
- Preset EQおよびSVCの詳細については、「Help? 機能用語集」(p35)をご覧ください。
- Bass (低音)、Middle (中音)、Treble (高音) は、Preset EQが「OFF」に設定されているときに調整できます。

### 1 CONFIG ボタンを押して、CONFIGモードに入ります。



### 2 マルチコントロールホイールを回して、[SOUND]タブを選択します。



### 3 マルチコントロールホイールの中央部を押して、サウンド設定を開始します。



### 4 マルチコントロールホイールを回して、設定する項目を選択します。



### 5 マルチコントロールホイールの中央部を押して、設定する項目を決定します。



### 6 マルチコントロールホイールを回して、設定値を選択します。



### 7 CONFIG ボタンを押して、設定を完了します。



# ディスプレイ設定 (TEXT)

ディスプレイ表示を設定します。

## ディスプレイ設定項目と基本操作

本機のディスプレイには、プレイ中の情報を3行(3項目)表示できます。

各行には、次の情報を表示できます。

ソース	表示	情報
TUNER	FREQ	周波数
	Date	日付
	Speana/Clock	スベアナ/時計
CD(音楽CD)	Blank	表示なし
	P-TIME	プレイ時間およびトラック番号
	Disc Title	アルバム名 (CD TEXT情報があるときのみ)
	Track Title	曲名 (CD TEXT情報があるときのみ)
	Date	日付
	Speana/Clock	スベアナ/時計
CD(オーディオファイル)	P-TIME	プレイ時間およびトラック番号
	Folder Name	フォルダ名 (CD/USBのみ)
USB  iPod 	File Name	曲名 (CD/USBのみ)
	Date	日付
AUX	Title/Artist	曲名/アーティスト
	Album/Artist	アルバム名/アーティスト
	Speana/Clock	スベアナ/時計
	Blank	表示なし
	Source Name	[AUX]
	Date	日付
	Speana/Clock	スベアナ/時計
	Blank	表示なし

1 SOURCE ボタンを押して、ソースを選択します。

2 CONFIG ボタンを押して、CONFIGモードに入ります。



3 マルチコントロールホイールを回して、[TEXT]タブを選択します



4 マルチコントロールホイールの中央部を押して、ディスプレイ設定を開始します。



5 マルチコントロールホイールを上または下に倒して、行を選択します。



- タイプBの画面に表示されている時計表示は変更できません。

- 6 マルチコントロールホイールを回して、表示する情報を選択します。



- 7 5 と 6 を繰り返して、各行の表示項目を設定します。

- 8 CONFIG ボタンを押して、設定を終了します。



# オーディオファイルについて

本機ではオーディオファイル (MP3/WMA/AAC) を再生することができます。

使用できるオーディオファイルやメディア、フォーマットには制限がありますので以下のことに注意してください。

## 再生できるオーディオファイル

### MP3フォーマット

形式	MPEG 1, MPEG 2 Audio Layer 3規格
サンプリング周波数	CD: 8, 11.025, 12, 16, 22.05, 24, 32, 44.1, 48 (kHz) USB: 16, 22.05, 24, 32, 44.1, 48 (kHz)
ビットレート	8~320 (kbps) / VBR*1

### WMAフォーマット

形式	Windows Media™ Audio準拠*2
サンプリング周波数	32, 44.1, 48 (kHz)
ビットレート	CD: 48~192 (kbps) / VBR*1 USB: 48~320 (kbps) / VBR*1
コピープロテクト	コピープロテクト (著作権保護) されたファイルは再生できません、設定をオフにしてください。

### AAC-LCフォーマット

形式	iTunes ver.6.1に準拠し、拡張子が“.m4a”のファイル
サンプリング周波数	CD: 16, 22.05, 24, 32, 44.1, 48 (kHz) USB: 8, 11.025, 12, 16, 22.05, 24, 32, 44.1, 48 (kHz)
ビットレート	CD: 32~320 (kbps) USB: 8~320 (kbps)
コピープロテクト	コピープロテクト (著作権保護) されたファイルは再生できません。



- オーディオファイルと認識して再生するファイルは、“MP3”、“WMA”または“.M4A”の拡張子が付いたものだけです。(拡張子は大文字と小文字どちらでも構いません)
- オーディオファイル以外のファイルに、“MP3”、“WMA”、または“.M4A”の拡張子を付けしないでください。これらの拡張子を付けると、オーディオファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーなどを破損する恐れがあります。
- \*1 VBR (可変ビットレート) 形式では、転送ビットレートに制限があります。ファイル(ストリーム)中のMP3/WMAビットレートが前記の値に収まっているファイルのみ再生できます。ファイル(ストリーム)中に上記のMP3/WMAビットレートから外れる部分があると正常に再生できません。
- \*2 Windows Media™ Player 9以上の一部の機能を使用すると正常に再生できない場合があります。

## 使用できるメディアとフォーマット

オーディオファイルを収録するためのメディアとフォーマットは下記です。また、ファイルとフォルダの構成には以下の制限があります。

メディアフォーマット	CD-R, CD-RW ● ISO 9660 Level 1 ● ISO 9660 Level 2 ● Joliet ● Romeo ● ロングファイルネーム
ファイルとフォルダの構成制限	● 最大ディレクトリ階層: 8階層 ● 1フォルダ中の最大ファイル数: 255 ● 最大フォルダ数: 255

メディア	USBデバイス
USB規格	USB 1.1 / USB 2.0
USBクラス	マスタストレージクラス
ファイルシステム	● FAT16 (容量が128Mバイト以上) ● FAT32 (容量が256Mバイト以上)
クラスタサイズ	2~32 Kバイト
ファイルとフォルダの構成制限	● 最大ディレクトリ階層: 9階層 ● 最大ファイル数: 65535 ● 最大フォルダ数: 699



- オーディオファイルのファイルサイズは24Kバイトより大きくしてください。ファイルサイズが24Kバイト以下だと再生できません。
- CD-RWの簡易フォーマットで作成されたメディアは再生できません。
- 何も記録されていないCDメディアに一度で最大容量まで記録する場合は、“Disc at Once”の設定をしてください。
- 使用できるUSBデバイスについては、「USBデバイスについて」(p10)をご覧ください。

## ファイル名とフォルダ名の入力

ファイル名とフォルダ名は、半角英数、漢字、またはカナ文字で入力してください。これ以外の文字で入力されているファイル名とフォルダ名は正常に表示されません。

なお、ファイル名/フォルダ名はCD：64文字、USB：32文字まで表示可能です。(区切り文字“.”と拡張子3文字を含みます)



- CD-R/RWでは、ライティングソフトや使用するディスクのフォーマットによって表示できる文字が制限されます。詳しくはライティングソフトの説明書をご覧ください。
- 文字数は1 byte文字を使用した場合です。

## オーディオファイルの曲情報表示

MP3	ID3 Tag v1.0/1.1	30文字
	ID3 Tag v2.2/2.3/2.4	CD：128文字 USB：64文字
WMA	WMAコンテンツ	CD：128文字
	プロパティ	USB：64文字
AAC-LC	iTunes m4a メタデータ (曲情報)	CD：128文字 USB：64文字

なお、表示できる文字は英数、漢字、カナ文字です。



- 文字数は1 byte文字を使用した場合です。

## メディアに書き込むファイルについて

オーディオファイルが収録されているメディアを挿入すると、最初にメディア内のすべてのファイルをチェックします。

このため、メディアに多くのフォルダやファイルを書き込むと、再生するまで長時間必要になります。また、ファイル検索やフォルダ検索がスムーズに行えない場合があります。

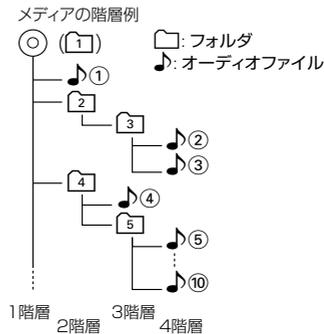
## オーディオファイルを再生する順番

再生などでファイルやフォルダが選択される順番は、メディアに書き込まれた順番になります。

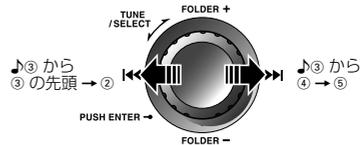
このため、予想していた順番と実際に再生される順番が一致しないことがあります。

PCの使用環境にもよりますが、“01”～“99”などとファイル名の頭に再生する順番を入力してから、CD-R/RWに書き込む、またはUSBデバイスにフォルダごとコピーすることで再生する順番を設定できることがあります。

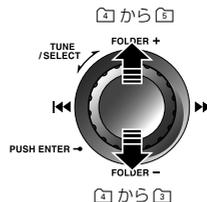
下記のようなフォルダ・ファイル階層のメディアで操作を行った場合は次のようになります。



### ♪③ 再生中にファイル検索を行うと…



### ♪④ 再生中にフォルダ検索を行うと…



音楽などの著作物を個人的に楽しむなどの場合を除き、著作権者の許諾を得ずに複製（録音）、配布、配信することは著作権法で禁止されています。

## 共通

### AAC (エーエーシー)

正式名「Advanced Audio Coding」の略称です。デジタル放送などに使用されている画像圧縮方法のオーディオ部分のみの圧縮規格です。本書ではこの方式を使用したオーディオファイルを目指す場合もあります。使用できるAAC収録メディアの種類やフォーマットなどは「オーディオファイルについて」(p32)をご覧ください。

### MP3 (エムピーシー)

正式名「MPEG Audio Layer 3」の略称です。MPEG AudioはDVDやVideo CDなどに使用されている画像圧縮方法のオーディオ部分のみの圧縮規格です。本書ではこの方式を使用したオーディオファイルを目指す場合もあります。使用できるMP3収録メディアの種類やフォーマットなどは「オーディオファイルについて」(p32)をご覧ください。

### WMA (Windows Media™ Audio)

米国マイクロソフト社が開発した音声圧縮符号化方式「Windows Media™ Audio」の略称です。本書ではこの方式を使用したオーディオファイルを目指す場合もあります。使用できるWMA収録メディアの種類やフォーマットなどは「オーディオファイルについて」(p32)をご覧ください。

## メニュー (MENU)

### CD Read (CD リード)

特殊なフォーマットのディスクを強制的に音楽CDとして認識させてプレイさせる機能です。

“1”：オーディオファイルディスクと音楽CDを自動的に識別してプレイします。通常はこちらでお使いください。

“2”：強制的に音楽CDとして認識してプレイします。オーディオファイルディスクはプレイできません。

なお、“2”に設定しても、音楽CDによってはプレイできない場合もあります。

### Dimmer (ディマー)

夜間の眩しさを防ぐために、車両のライトの点灯に連動して、本機のイルミネーションやディスプレイの明るさを下げる機能を解除します。

“ON”：ライトを点灯しても明るさは変わりません。イルミネーションコントロール機能が搭載されている車両では、“ON”にしても減光機能が動作します。ただし、減光レベルが一番小さい状態のときは、ディスプレイはライトが消灯しているときと同じ明るさになります。

“OFF”：ライトを点灯すると暗くなります。

### Display (ディスプレイ)

約5秒間以上何も操作しないと、ディスプレイの表示を消す機能です。

ただし、各種の設定中(メニュー操作中など)は、設定にかかわらず、ディスプレイは消えません。

“ON”：ディスプレイは消えません。

“OFF”：何も操作しないと、約5秒後にディスプレイが消えます。

### DISP REV (ディスプレイリバーズ)

ディスプレイの表示タイプをネガとポジに切り替えます。また、ライトスイッチに連動して反転することも可能です。

“POSI/NEGA”：ライトスイッチがオフのときは、文字をポジタイプで表示し、オンにするとネガタイプで表示します。

“NEGA”：文字をネガタイプで表示します。

“NEGA/POSI”：ライトスイッチがオフのときは、文字をネガタイプで表示し、オンにするとポジタイプで表示します。

“POSI”：文字をポジタイプで表示します。

## Scroll (スクロール)

ディスプレイにフォルダ名、ファイル名、曲名/アーティスト名、またはアルバム名を選択しているとき、文字数が多いために表示しきれない場合にスクロールして表示する機能です。

“Auto”： プレイする曲名などの表示情報が変わったときに、自動的にスクロールして表示します。

“Manual”：自動的にスクロールしません。

上記の設定にかかわらず、約1秒間以上、マルチコントロールホイールを上 (FOLDER+側) に倒すと、表示をスクロールできます。

## カンジユウセン (漢字優先)

CDに収録されている曲の名前やアーティスト名などに漢字が使用されている場合、漢字を優先して表示する機能です。

“ON”：漢字が使われているときには漢字で表示します。

“OFF”：漢字の使用の有無にかかわらず、カタカナおよび英数字で表示します。

## サウンド設定

### Preset EQ (プリセットイコライザー)

ジャンル別に設定された効果には以下のような特徴があります。

“ROCK”：スピーディーで力強いアタック音を再現します。

“POPS”：中音域をメインにしたリズムカルな音を再現します。

“VOCAL”：生き生きとしたボーカルを主体に再現します。

“DANCE”：ビートの利いた音を再現します。

“JAZZ”：ウッドベースの音階やボーカルの質感を鮮明に再現します。

“FLAT”：原音のまま出力します。

### SVC

正式名「Speed sensitive Volume Compensation (速度感応式音量補正)」の略称です。

車の速度が速くなると、ロードノイズなどが大きくなり、音楽が聞こえにくくなります。SVC機能は、車の速度に応じてオーディオの音量を自動的に調整する機能です。

“LOW”、“MID”、“HIGH”の3段階があり、LOW、MID、HIGHの順に音量の増加量が大きくなります。

# Help? 状態表示

本機では、次のメッセージで状態が表示されます。

## ■ 共通

### AMP CHECK :

本機の内部温度が一定以上の温度に達しました。音量を18まで小さくします。

### AMP PROTECT :

本機の内部温度が一定以上の温度に達しました。音量を最小にします。また、動作を停止する場合があります。

### SP PROTECT :

スピーカー出力に直流電流が流れて保護回路が働きました。

## ■ CD

### UNSUPPORTED :

挿入したCDは再生できません。

### CHECK DISC :

挿入したCDやディスクが汚れてます。または、裏返しに挿入しています。

### MECH ERROR :

本機のCDドライブに異常があります。

### COPY PROTECT :

コピープロテクトされているWMAファイルはプレイできません。

### NO TITLE :

曲名等のタイトルが記録されていません。

### NO ALBUM :

アルバム名のタイトルが記録されておりません。

### NO ARTIST :

アーティストの情報が記録されておりません。

## ■ USB

### (メッセージ表示なしにスキップされる)

コピープロテクトされているWMA/AACファイルはプレイできません。  
または、サポートされていないフォーマットのオーディオファイルはプレイできません。

### NO TITLE :

曲名等のタイトルが記録されていません。

### NO ALBUM :

アルバム名のタイトルが記録されていません。

### NO ARTIST :

アーティストの情報が記録されていません。

### NO MUSIC :

USBデバイス内に再生できるオーディオファイルがありません。

### N/A DEVICE :

- 接続したUSBデバイスのファイルシステム (NTFSやHFSなど) またはクラスタサイズはサポートされていません。
  - 接続したUSBデバイスは使用できません。
  - USBデバイスが正しく接続されていません。もう一度接続しなおしてください。
- 使用できるUSBデバイスは「USBデバイスについて」(p10)をご覧ください。

### OVER CURRENT :

接続したUSBデバイスで供給できる電流容量 (500mA) を超えました。

### RECONNECT :

接続したUSBデバイスは、何らかの原因で正しく認識できません。デバイスを再接続してください。

## ■ iPod

### NO MUSIC :

iPod内または選択したカテゴリ内にプレイできる曲がありません。

### CHECK CONNECT :

iPod接続ケーブルが正しく接続されていません。

### CHECK IPOD :

接続したiPodのファームウェアはサポートされていません。iPodのファームウェアをバージョンアップしてください。

### N/A DEVICE :

- 接続したiPodを認識できません。
  - 接続したiPodは使用できません。
- iPodが認識されない場合は「iPodのご使用上の注意」(p11)をご覧ください。使用できるiPodについては「使用できるiPod」(p11)をご覧ください。

# 故障かな？と思ったら

## 共通

こんなとき	どうして	こうします
電源がオンにならない	ヒューズが切れている。	販売店にヒューズの交換を依頼してください。
	エンジンスイッチをオンにしていない。	エンジンスイッチをオンにしてください。
音が出ない/ 音が小さい	オーディオオフになっている。	ボリュームノブを押して、オーディオオンにしてください。
	音量が最小になっている。	音量を適度に上げてください。
音質が悪い (音が歪む)	"Fader"、"Balance" が片側に片寄った設定になっている。	"Fader" (フェダー)、“Balance” (バランス) を調整してください。(p29)
	音量が大きすぎる。	適正音量で使用してください。
「サウンド設定」の "Bass"、"Middle"、"Treble" が表示されない。	"Preset EQ" (プリセットイコライザー) を設定している。	プリセットイコライザーをオフにしてから設定してください。
ディスプレイが暗い。	周囲の温度が低い。	車内の温度を上げてください。液晶部分の温度が上がると、通常明るさに戻ります。

## 音楽CD/ディスク

こんなとき	どうして	こうします
CDモードに切り替わらない	CDが挿入されていない。	CDを挿入してください。
CDが入らない	すでにCDが入っている。	入っているCDを取り出してから入れてください。
	CDが反っている。	反ったCDは使用しないでください。
CDが再生できない	CDに傷や汚れがある。	「CDのお手入れ」(p9) を見て、クリーニングしてください。
CD-R、CD-RWが再生できない	ファイナライズ処理を行っていない。	ファイナライズ処理を行ってください。ファイナライズ処理については、お使いのライティングソフトやレコーダーの説明書をご覧ください。
CDのプレイ時の音質が悪い (プレイ時にノイズが入る)	CD自身の音質。	他のCDを再生して問題がなければ、そのCDの問題です。
	CDに傷や汚れなどが付いている。	「CDのお手入れ」(p9) を見て、クリーニングしてください。
	CDが反っている。	反ったCDは使用しないでください。
選曲操作をしても、目的の曲に切り替わらない	ランダムプレイになっている。	「CDを聴く」(p16)、「ディスク内のオーディオファイルを聴く」(p18) を見て、ランダムプレイを解除してください。
振動により音が飛ぶ	CDに傷や汚れなどが付いている。	「CDのお手入れ」(p9) を見て、クリーニングしてください。
	CDが反っている。	反ったCDは使用しないでください。
文字表示で "DISC TITLE"、"ARTIST TITLE"、"TRACK TITLE" 項目が表示されない	情報が記録されていない音楽CDを再生している。	CD TEXT が記録された音楽CDのときに表示できます。

## オーディオファイル (MP3/WMA/AAC) 共通

こんなとき	どうして	こうします
オーディオファイルが再生できない	MP3/WMA/AAC ファイルに拡張子が付いていない。	MP3 ファイルには ".MP3" を、WMA ファイルには ".WMA" を、AAC ファイルには ".M4A" を付けてください。
	サポートしていないファイルを再生しようとした。	「オーディオファイルについて」(p32) を見て、再生できるファイルを作成してください。

次のページへ ▶

## 故障かな？と思ったら

オーディオファイルを再生時に雑音が入る/音が出なくなる	オーディオファイル以外のファイルに“.MP3”、“.WMA”または“.M4A”拡張子が付いている。	MP3/WMA/AACファイル以外のファイルに付いている“.MP3”、“.WMA”または“.M4A”拡張子を消去してください。
	サポートしていないファイルを再生しようとした。	「オーディオファイルについて」(p32)を見て、再生できるファイルを作成してください。
“COPY PROTECT”と表示してWMAファイルが再生されない	コピープロテクトされているWMAファイルを再生している。	Windows Media™ Audioの著作権保護されたファイルは再生できません。
フォルダ名、ファイル名、曲情報が正しく表示されない	本機で表示できない文字を使用した。	本機では英数、漢字、カナ文字のみ表示できます。
演奏時間表示が実際の演奏時間と一致しない	オーディオファイルの記録された状況により、演奏時間が一致しないことがあります。	—
オーディオファイルを再生するまで時間がかかる	メディアに記録されているフォルダ/ファイル/階層が多い。	最初にメディア内のすべてのファイルをチェックするため、多くのファイルが記録されているメディアを使用すると、再生されるまで長時間かかる場合があります。

## USBデバイスに記録したオーディオファイル

こんなとき	どうして	こうします
オーディオファイルが順番どおりに再生されない	USBデバイスに記録された順番で再生します。	PCの使用環境により異なりますが、ファイル名の頭に“01”～“99”などと入力してからフォルダごとコピーすることで順番を設定できる場合があります。フォルダを上書きした場合、再生順を指定できないことがあります。その場合は一度フォルダを削除してからコピーしてください。
USBデバイスを認識するまでに時間がかかる	メディアに記録されているフォルダ/ファイル/階層が多い。	最初にメディア内のすべてのファイルをチェックするため、多くのファイルが記録されているメディアを使用すると、再生されるまで長時間かかる場合があります。
USBデバイスを認識しない	使用できないUSBデバイスを接続した。	使用できるUSBデバイスは「USBデバイスについて」(p10)をご覧ください。

## CDに記録したオーディオファイル

こんなとき	どうして	こうします
オーディオファイルが再生できない	CDに傷や汚れがある。	「CDのお手入れ」(p9)を見て、クリーニングしてください。
	「メニュー設定」の“CD Read”項目を“2”に設定している。	「メニュー項目と基本操作」(p27)を見て、“CD Read”項目を“1”に設定してください。
	CD-RWのフォーマットを簡易フォーマットで行ったため。	CD-RWをフォーマットするときは、フルフォーマットで行ってください。
オーディオファイルを再生中に音飛びする	CDに傷や汚れがある。	「CDのお手入れ」(p9)を見て、クリーニングしてください。
	CDが反っている。	反ったCDは使用しないでください。
オーディオファイルが順番どおりに再生されない	プレイさせたい順番どおりにライティングソフトで書き込まれなかったため。	ライティングソフトにより異なりますが、ファイル名の頭に“01”～“99”などと入力してから書き込むことで順番を設定できる場合があります。
フォルダ名/ファイル名が正しく表示されない	ISO9660 level1/2, Joliet, またはRomeoに準拠して記録されていない。	ISO9660 level1/2, Joliet, またはRomeoに準拠したディスクを使用してください。(p32)
	ライティングソフトで扱えない文字を使用し記録した。	ライティングソフトの取扱説明書を参照して使用できる文字で記録してください。

## iPod

こんなとき	どうして	こうします
iPodを操作できない	本機に接続しているときは、iPodは操作できません。 ソースがiPodに切り替わってから約15秒間は操作できません。	選曲などの操作は、本機側で行ってください。 iPodに「Gathers」と表示されてから操作してください。
iPodを認識しない/ 何も表示されない	iPodとの同期ができていない。	iPodを本機およびiPod接続ケーブルからいったん取り外し、再度接続しなおしてください。 接続しなおしても認識されない場合は、iPodをリセットしてください。 詳しくは「iPodのご使用上の注意」(p11)をご覧ください。

## ラジオ

こんなとき	どうして	こうします
チューナーの感度が悪い、または雑音が入る*	自動車のアンテナが伸びていない。 電波が弱い。 受信周波数が合っていない。	アンテナを十分伸ばしてください。 電波状態の良い周波数を受信してください。 放送局の周波数を確認して、周波数を合わせてください。

## AUX

こんなとき	どうして	こうします
AUXモードに切り替わらない	AUX端子にケーブルを接続していない。 オーディオオフになっている。 接続ケーブルの差し込みが不十分。 ステレオミニプラグ以外を使用して接続している。	AUX端子にケーブルを接続してからAUXソースに切り替えてください。 オーディオオンにしてからAUX端子に接続してください。 接続ケーブルのプラグを確実に差し込んでください。 ステレオミニプラグ(3極)を使用して接続してください。
AUXの音声が小さい	抵抗入りのケーブルを使用して接続している。 AUX端子に接続した機器の音量が小さくなっている。	抵抗が入っていないケーブルを使用してください。 接続した機器の音量を適度に上げてください。
AUXの音声が片側からしか出ない	モノラルミニプラグを使用して接続している。	ステレオミニプラグを使用して接続してください。



\* FM放送はAM放送と比べるとビルや山などの影響を受けやすく、障害物の裏側などに入ると雑音が出ることがあります。また、FM放送は受信できる範囲が狭く、長距離ドライブなどでは走行中に電波が届かなくなり、雑音が出ることがあります。

# 保証とアフターサービス

---

## 保証について

保証書に記載された「販売会社印・お買い上げ日」を確認し、よくお読みのうえ、大切に保管してください。

## アフターサービスについて

### ● 調子が悪いとき

まず、この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

### ● それでも調子が悪いとき

保証規定に従い修理させていただきますのでお買い上げの販売会社に修理を依頼してください。

### ● 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

### ● 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

### ● 補修用性能部品

製造打ち切り後、最低 6 年間保有しています。

保証書やアフターサービスの詳細、その他ご不明の点はお買い求めの販売店へご相談ください。

# 付属品一覧

取扱説明書..... 1冊

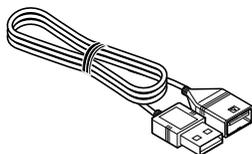


取付ネジ (M5 × 8mm)..... 8個

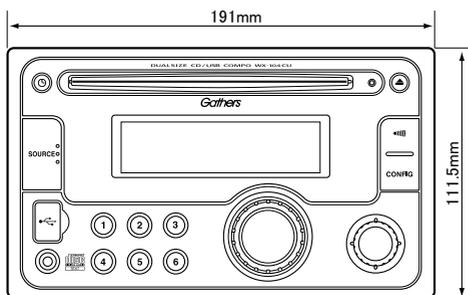
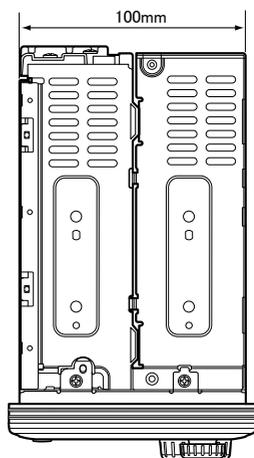
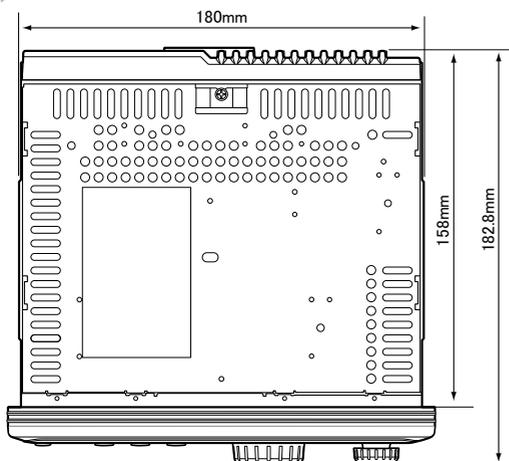


車両への取り付けに使用します。(一部車両を除く)

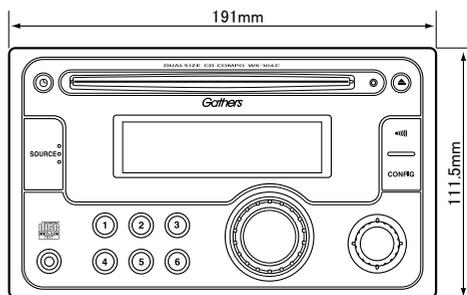
USB ケーブル (1.5m) **CU** ... 1本



# 外形寸法图



(WX-104CU)



(WX-104C)

# 仕様一覧

## FMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)  
: 76.0 MHz ~ 90.0 MHz (100 kHz)  
実用感度  
: 12 dBf  
周波数特性  
: 20 Hz ~ 15 kHz  
S/N比  
: 65 dB 以上  
高調波歪率  
: 1 %以下 (1 kHz)

## AMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)  
: 522 kHz ~ 1629 kHz (9 kHz)  
実用感度  
: 28 dB $\mu$   
S/N比  
: 60 dB 以上  
高調波歪率  
: 1 %以下 (400 Hz)

## CDプレーヤー部

フウ & フラッター  
: 測定限界以下  
周波数特性  
: 20 Hz ~ 20 kHz ( $\pm 1$  dB)  
S/N比  
: 95 dB 以上 (1 kHz)  
ダイナミックレンジ  
: 90 dB 以上  
高調波歪率  
: 0.01 %以下 (1 kHz)  
デジタルフィルター  
: 8 倍オーバーサンプリング  
D/Aコンバーター  
: 1 bit  
MP3デコーダ  
: MPEG-1/2 Audio Layer-3 準拠  
WMAデコーダ  
: Windows Media™ Audio 準拠  
AACデコーダ  
: AAC-LC 形式 ".m4a" ファイル

## USB/IF部 (WX-104CUのみ)

USB規格  
: USB 1.1/2.0  
最大供給電流  
: 500 mA  
ファイルシステム  
: FAT 16/32  
MP3デコーダ  
: MPEG-1/2 Audio Layer-3 準拠  
WMAデコーダ  
: Windows Media™ Audio 準拠  
AACデコーダ  
: AAC-LC 形式 ".m4a" ファイル

## AUX入力

周波数特性  
: 20 Hz ~ 20 kHz ( $\pm 3$  dB)  
最大入力電圧  
: 750 mV  
入力インピーダンス  
: 1 k $\Omega$

## オーディオ部

最大出力  
: 45 W  $\times$  4  
定格出力  
: 22 W  $\times$  4 (4  $\Omega$ , 1 kHz, 10%THD)

## 電源部

電源電圧  
: 13.2 V (10.8 ~ 16.0 V)  
最大消費電流  
: 10 A

## 寸法・質量

埋込寸法 (W  $\times$  H  $\times$  D)  
: 180  $\times$  100  $\times$  158 mm  
質量 (重さ)  
WX-104CU: 1880 g  
WX-104C: 1820 g

これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

■ 商品についてのお問い合わせは、お買い求めの販売店または株式会社ホンダアクセスお客様相談室までお願いします。

## 株式会社ホンダアクセス「お客様相談室」

全国共通フリーダイヤル ☎0120-663521

(受付時間 9時～12時、13時～17時／但し、土日・祝祭日・弊社指定休日は除く)

販売元 株式会社 **ホンダ** アクセス 〒352-8589 埼玉県新座市野火止8丁目18番地4号

製造元 株式会社 **ケンウッド** 〒192-8525 東京都八王子市石川町2967番地3